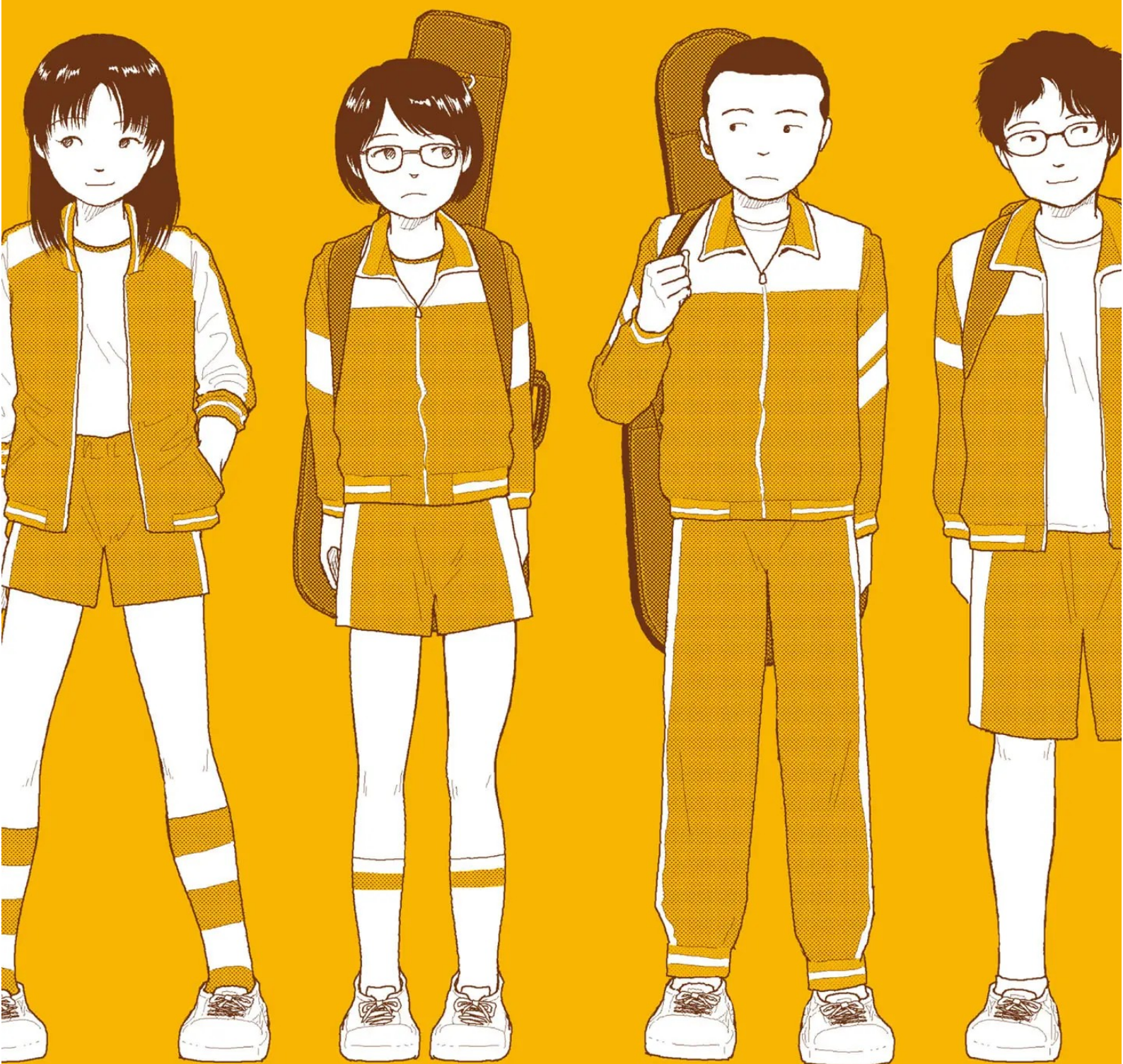


山本直樹 最新作品集

第三篇「五時」

第二話 「一日目～三日目」



本作は一部に性的に過激な描写が含まれています。
苦手な方や、18歳未満の方は閲覧をご遠慮ください。



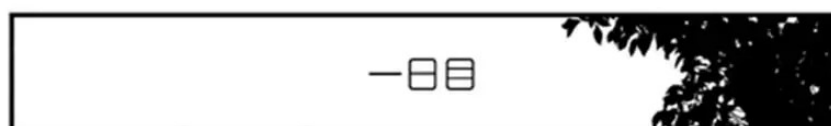
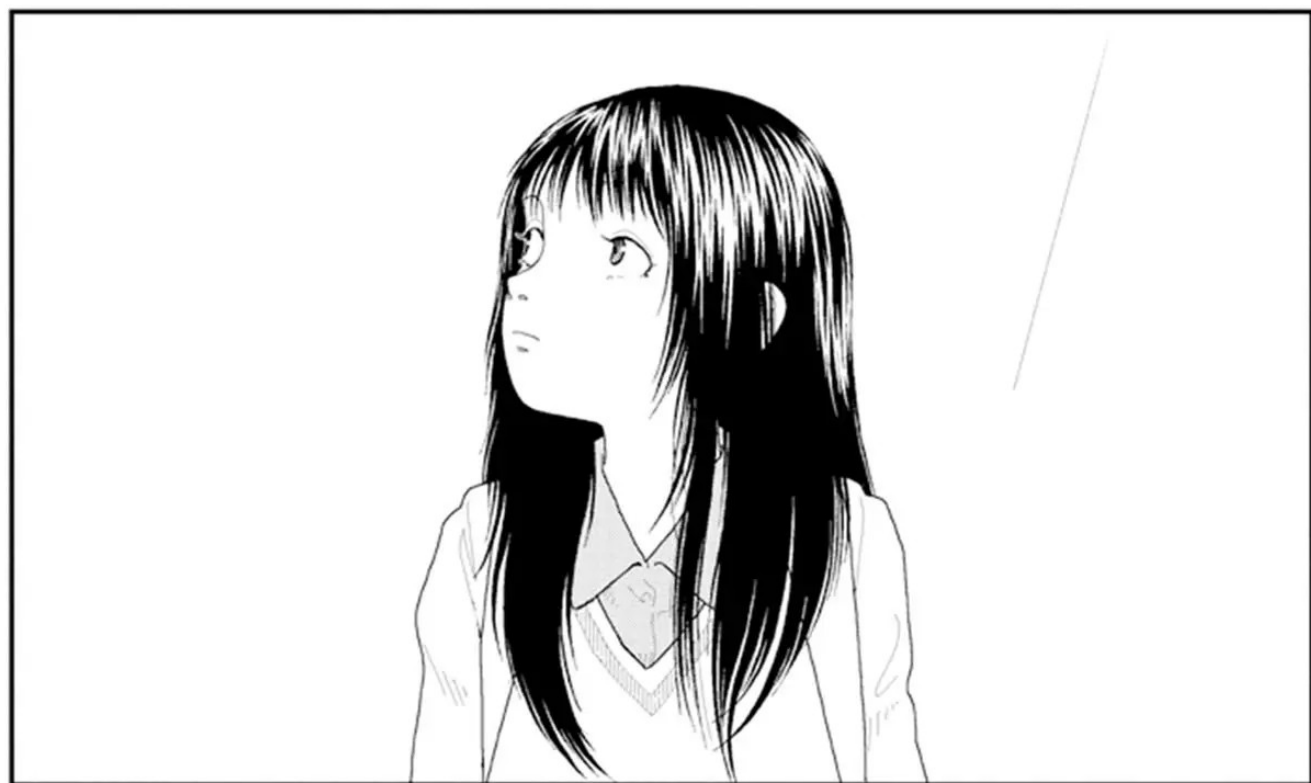
本作は一部に性的に過激な描写が含まれています。
苦手な方や、18歳未満の方は閲覧をご遠慮ください。

山本直樹 最新作品集

第三篇「五時」

第二話「一日の三回」





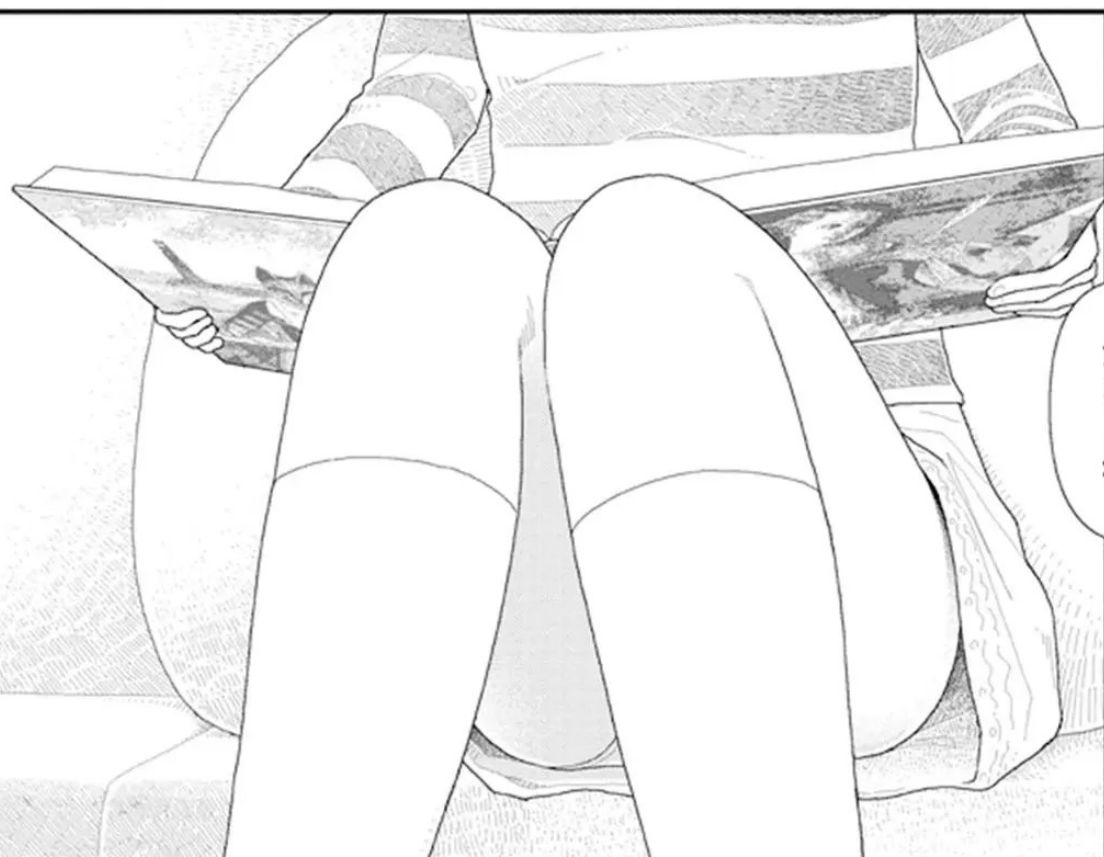


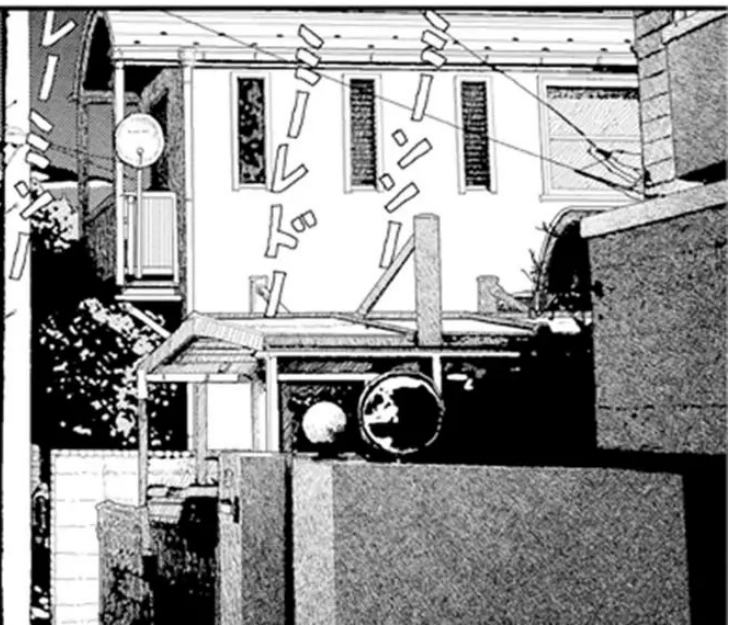


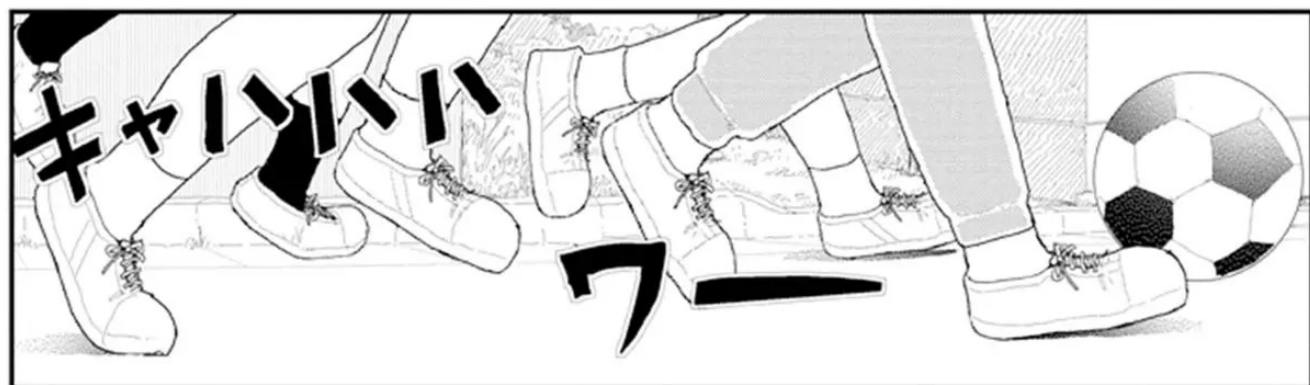


二日目





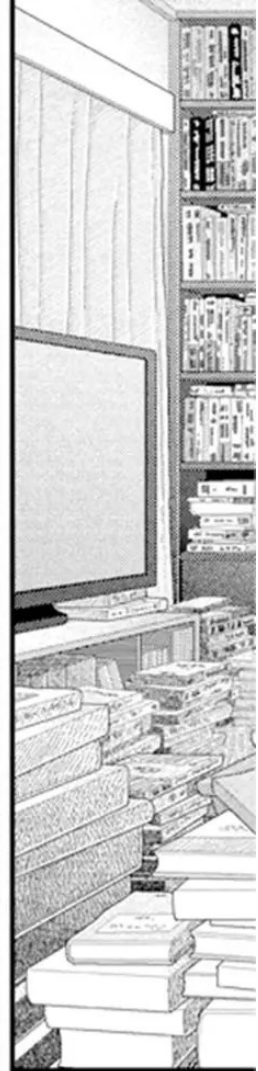




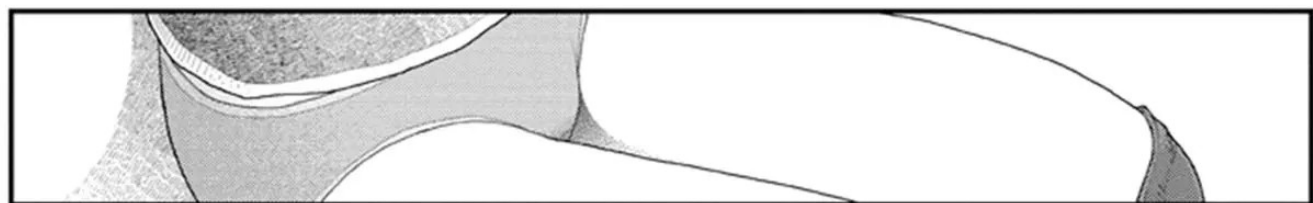
三日目















何
してるの

「どんなこと
されるのかな？」って
考えると
足に力いれてギューツて
したくなるの

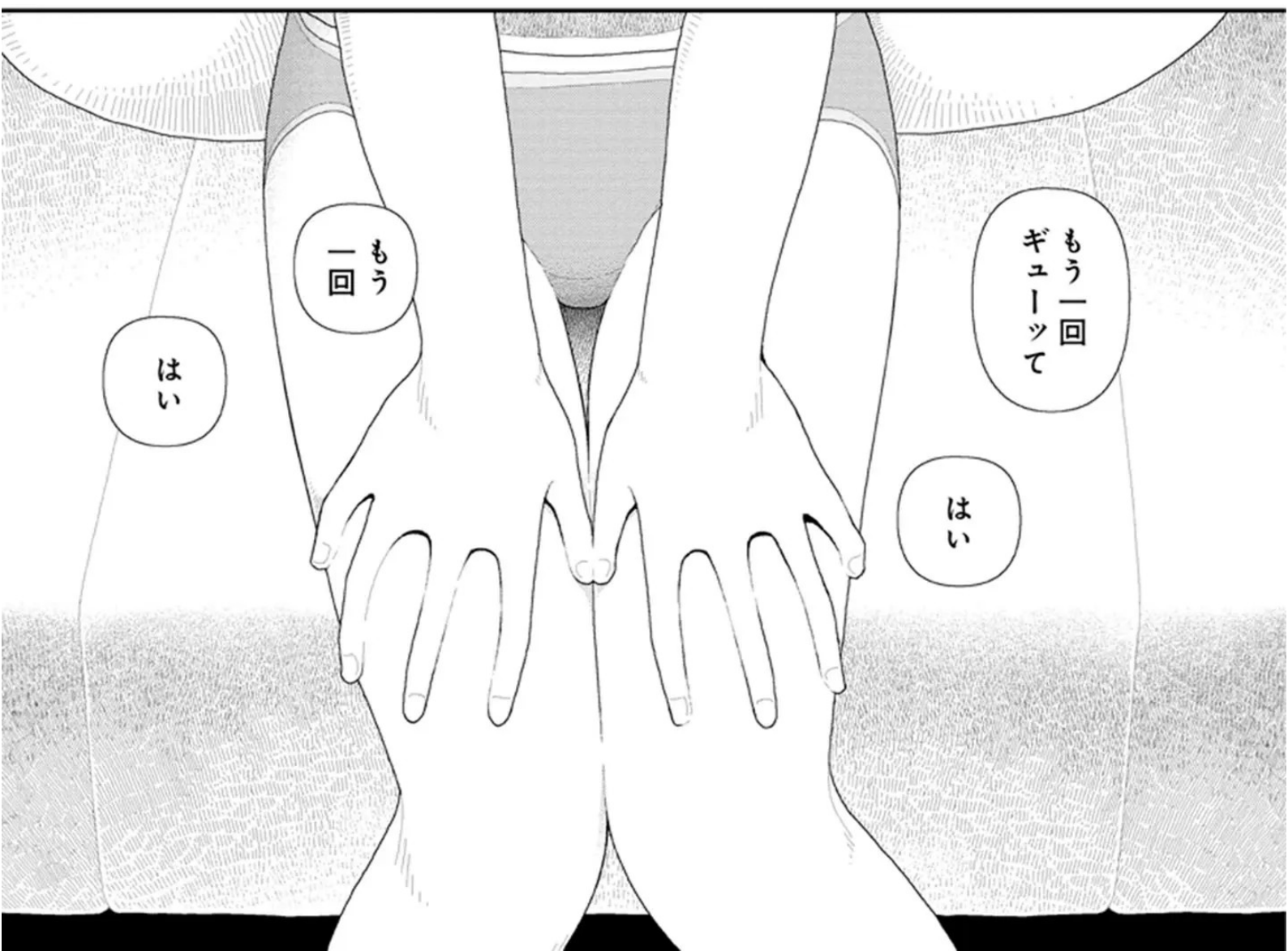


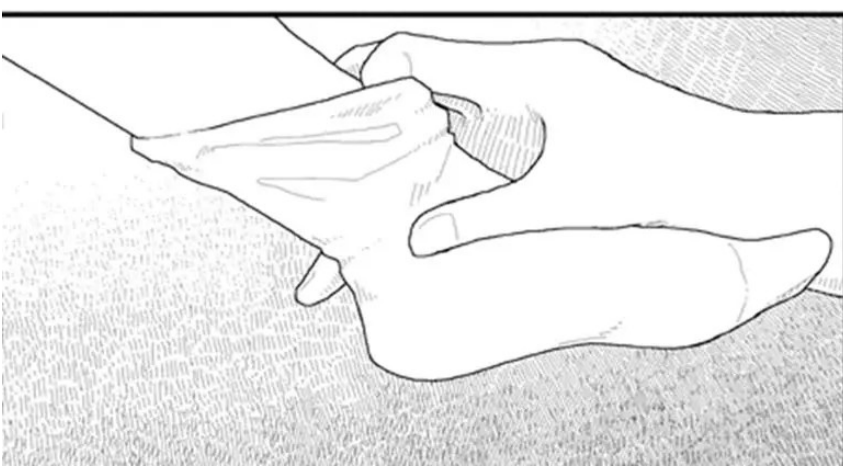
じゃあ
もう一回
どんなこと
されるか
想像しながら
ギューツて
力いれてみて

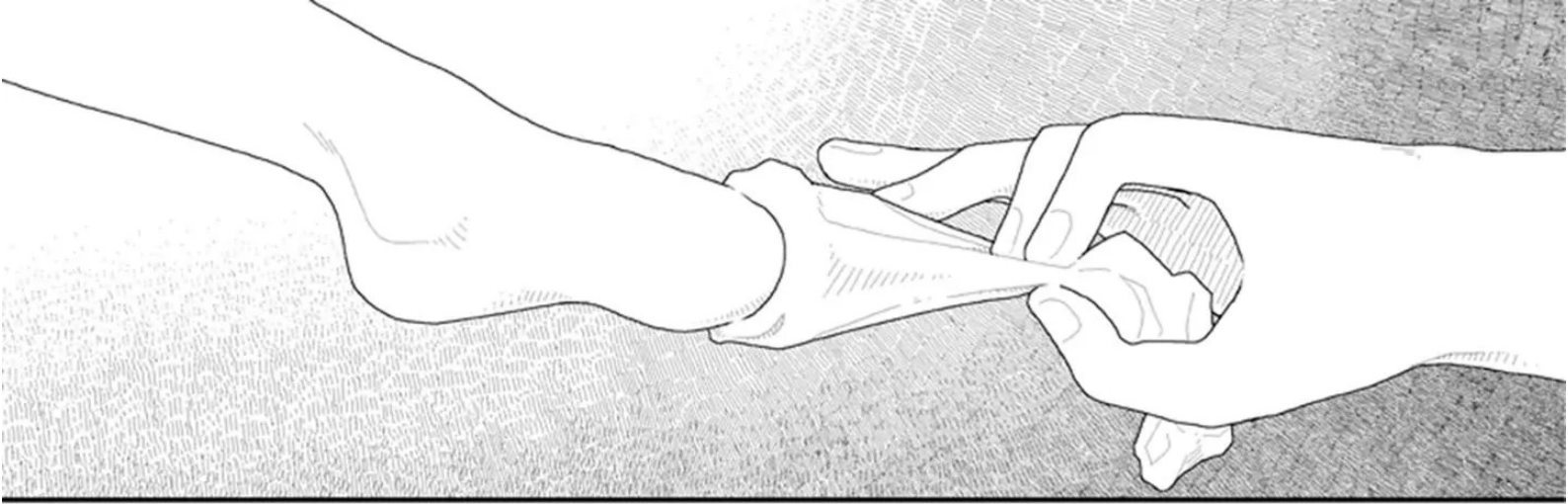


何か気持
よくなる

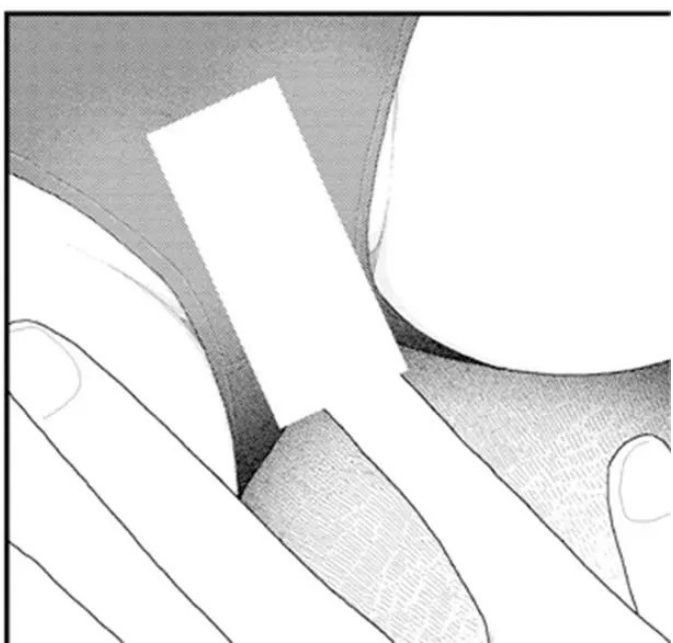
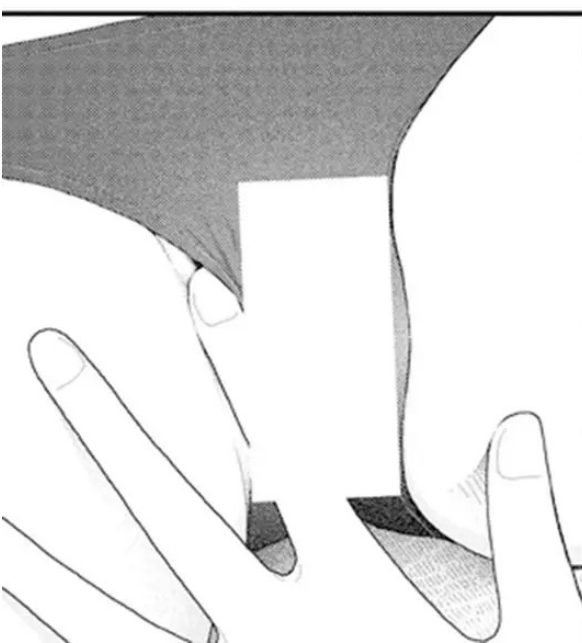
ギューツて
すると
どうなるの？













汗をかいた後なので
「臭かったら恥ずかしいな」
とは思ったけれど
わたしはじつとしていました

さわって
ほしかった
からです

あそこを
さわると
気持ちい
という事を
知ってた
からです



おっちゃんの指が
パンツの中に
入ってきました



はい



ここを
いじられるのは
初めてかい？



一度だけパンツを脱いで
直接さわったことあるけど
こわくなってやめちゃった



自分で
いじることは
あるの？

時々

眠れない
時とか？

うんでも
パンツの上から
だけ



気持ちいいんだね



その時より
気持ちいいでしょ？

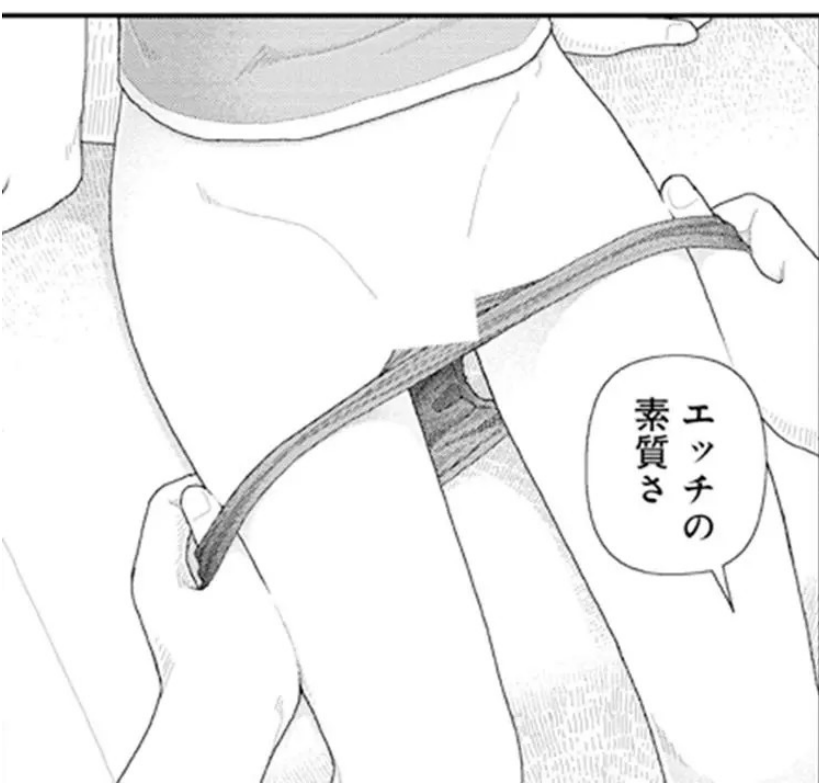
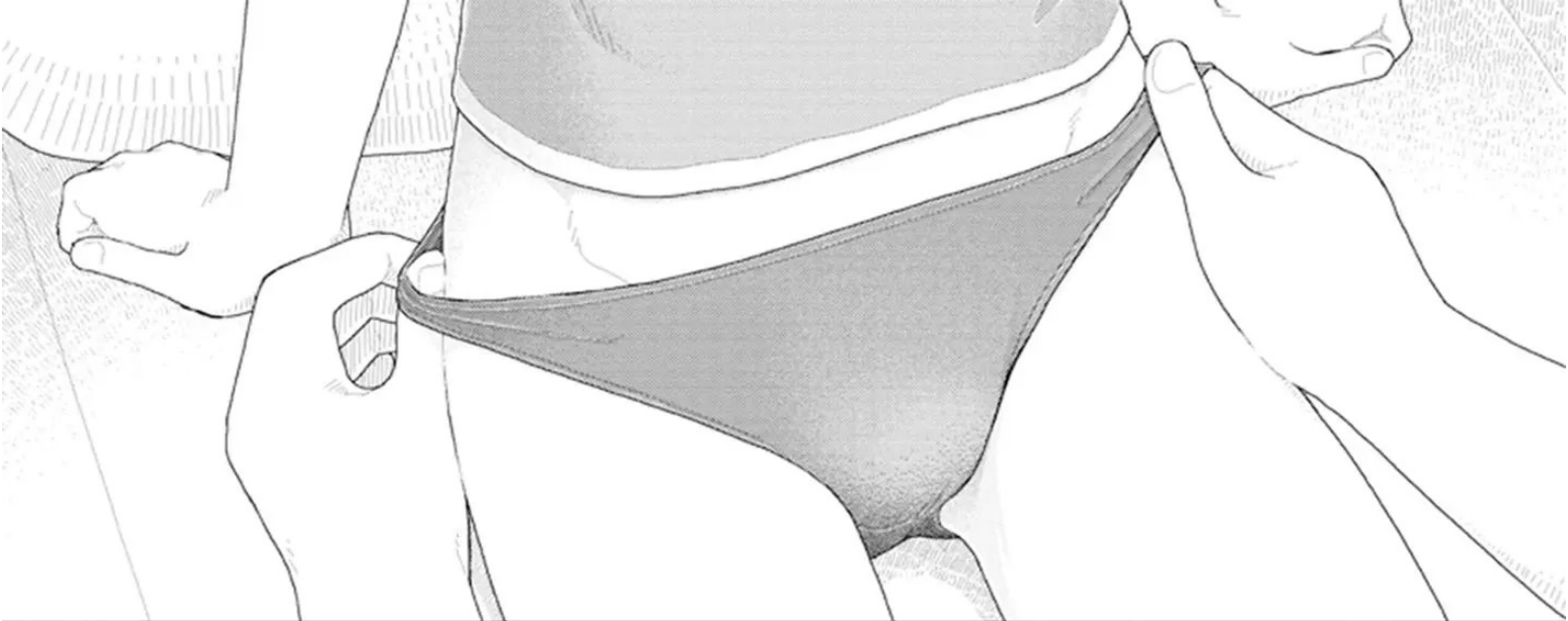


：なんか
こわいです



気持ちよくなりすぎ
ちゃったんだね？

• •
• •
• •
• •
• •
• •









ムズムズした
とても変な気持ちに
なってきました

乳首やワレメや
いろんなところを
いじられて



ぬりゅん



それから
上も全部脱がされて
ハダ力になりました
おっちゃんも
ハダ力になりました



恥ずかしかったけれど
ハダ力で抱き合うのは
気持ち良かったです







恥ずかしい
です

さっき
さわられてた
じゃん

でも
……

さわって
ほしいうて
言ってるよ

言って
ませんよ

こっちの
口がさ

おっちゃんは今々
エロジジイみたいなの
ことを言います

にちっ

ほら





すっぱだかになって
思いきり股を広げて
その真ん中の
一番恥ずかしい
まんこをいじくられて
気持ちよくなってる

こんなことをされて
気持ちよくなってる自分が
とても恥ずかしくて

そして恥ずかしいと思うと
なおさら気持ちよくなってきて
あそこがさらにヌルヌルして
きました



君みたいな子でも
こんなにヌルヌルに
なるんだな



自分でいじるより
気持ちいいでしょ

そう
かも



どういう意味
ですか？



意味
なんて
ないよ





おっちゃんはちんぽを
わたしのまんこに
押しあてて
かき回すように
上下左右に動かしました

しばらくの間
そうして
ました

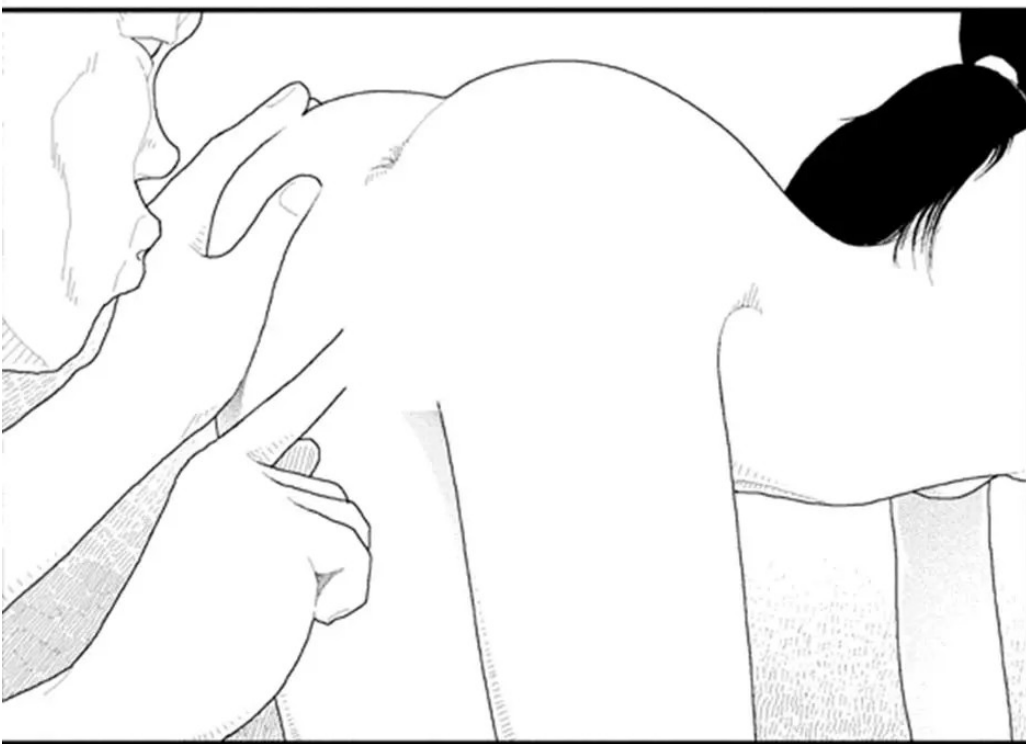


むずむずとした
感じが徐々に
気持よくなつて
きてわたしは
されるがままに
なっていました

くちゅっ

くちゅっ







前を向いててよくわからなかった
けどおっちゃんは
あたしのまんこに口をつけて
舌でなめはじめたようでした



汗臭い
でしょう？



汚い
ですよ



恥ずかしい
です

そんなこと言われて
とても恥ずかしかったけど
指だけでされるより
もっとずっと気持ちよくて



汗臭いよ
そして
オシッコ臭いよ
総じて
まんこ臭いよ

素晴らしい
臭いだよ



おっちゃん
まんこの穴に指を
入れようとして
しました



痛い
？

ちょっと
痛い
です

わたしが
そう言つと
おっちゃん
は
指を入れるの
を
やめてま
た
なめはじ
め
まし
た





恥ずかしい部分を
長いあいだ
いじられたり
なめたりされる
うちに わたしは
気持よくなつて
頭がぼーとして
きました



おっちゃんの舌は
わたしの一番敏感な部分を
探し当てて そこを
集中的に責めてきました

時々
気持よすぎて
お尻がビクンと
ふるえました



こんな恥ずかしい
格好をさせられて
こんなに気持ちよくなる
つもりはなかったので
ちよっと怖かった

でもお尻が
ビクンビクン
ふるえるのが
止まりません

お尻の穴も
なめられ
ました

おっちゃんの手は
穴のまわりを
いったり
きたりして
時々先っぽだけ
入れようとして
すぐやめたり
また入れたり



でも あそこが
ヌルヌルに
なったせいか
いじられ続けて
柔らかく
なったのか
指の先っぽだけ
入るようにな
りました



ちよつと痛いというか
苦しいというか
圧迫感があったけど
あそこをなめられて
気持よくなつて
いたので わたしは
されるがままに
なっていました

わたしの
まんこからは
ドロドロとした
白っぽい粘液が
出ていました

疲れた
かい？

……
ふう



それから
おっちゃん
ちんぽに
ヌルヌルした
ものを塗って
射精する
ところを
見せてもらい
ました



射精する時
おっちゃん
は
気持よさそうに
眼をつぶりました



精液は
ドロドロで熱くて
変な感じでした



食べる

4:45

アイス
食べる？



うん

もう
帰る時間？



つづく



マンガ・エロティクス・エフ公式サイト
<https://erotics-f.com>

山本直樹作品集 [単話版]

第三篇「五時」第二話「一日目～三日目」

発行：2026 年1月 14 日

著者：山本直樹

発行人：森山裕之

発行所：株式会社太田出版

〒 160-8571 東京都新宿区愛住町 22 第 3 山田ビル 4F

TEL 03-3359-6262

HP <https://www.ohtabooks.com>

©Naoki Yamamoto 2026

※この作品は、『OhtaWebComic』にて販売されたものと同内容です。

この作品の全部、あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信すること、内容を無断で改変・改竄することを禁止します。また、有償・無償にかかわらず、第三者に譲渡することはできません。